

基礎物理化学（量子論）(2)

【履修要件】

1 回生はクラス指定の時間に受講すること。過年度生も、1 回生受講時のクラスで受講することを原則とする。クラス指定以外のクラスにて受講を希望する場合は、講義の適正規模を考慮して、受講の可否を判断するので、最初の講義の際に、教員に申し出ること。適正規模以上になる場合は、他クラスでの受講をもとめる場合がある。また、後期授業「基礎物理化学（熱力学）」と連続した履修を勧める。

【成績評価の方法・観点】

期末試験（80％）および平常点（授業への参加状況とレポートなど）（20％）を総合して、100点満点で評価する。
授業や教科書で得た知識のみならず、それらを用いて、分子や物質世界で起こる自然現象を論理的に解釈し、説明する能力を評価する。

【教科書】

原 公彦『ベーシック物理化学』（化学同人）ISBN:978-4-7598-1150-6

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

本講義は理工化学科のクラス指定科目である。2 - 4 回生で学習する物理化学のみならず他の化学分野の基礎となっている。高等学校で物理を学習していない場合、多少、物理学あるいは数学的な導入が必要であるが、それ程難しい内容ではないので、授業中に解説する。教科書の筋道に従いながら、補助プリントや参考資料を用いて周辺の重要な事項を解説する。レポート課題を課して復習を促す。したがって、毎回の授業に出席し、教科書の内容説明に加えて、補足して講義される内容を理解し、後日の復習のためにノートをとることが重要である。これらの知識をもとに、毎回のレポート課題によって復習し、発展問題にも対応できる応用力を着実に身に付けること。

【その他（オフィスアワー等）】

【主要授業科目（学部・学科名）】

理学部